

令和2年4月28日臨時亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午後4時30分
閉会 午後5時20分

2 出席委員

神 先 宏 彰	教育長
江 口 昌 道	委員
北 村 真 也	委員
末 永 礼 子	委員
出 藏 裕 子	委員
福 嶋 百合子	委員

3 欠席委員

関 吉 廣	教育長職務代理者
-------	----------

4 出席事務局職員

片 山 久仁彦	教育部長
國 府 美 幸	次長兼総括指導主事
亀 井 鶴 子	教育総務課長
伊豆田 晃 正	学校教育課長
谷 口 正 二	社会教育課長
桂 和 裕	学校給食センター所長
海老原 睦	教育研究所長

5 傍聴者

1名

6 議事の概要

(1) 開会

○教育長が開会を宣言。

(2) 協議事項

①新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる対応について

・市立小・中・義務教育学校及び市立幼稚園の臨時休校（園）期間の延長について

○教育長からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

江口委員　まだまだ安全が確保されていない状況では、臨時休校を延長することは避けられない。学校や家庭が混乱しないような対応を望む。緊急事態宣言が解除された場合には部分登校などを取り入れながら再開してはどうかと考える。子どもの心のケアや虐待を受けているなど心配な家庭についての配慮も必要だと考える。教育委員として学校現場ファーストで支援していきたい。

末永委員　休校延長について保護者にはいつ知らせるのか。

学校教育課長　4月30日の予定である。

末永委員　今後の状況に応じて期間の延長や短縮もあることを含めて伝えることが良いと思う。今日の新聞で休校が5月17日までと報道されたが、最短でも17日までということであって31日まで休校にする趣旨がよく伝わるように工夫する必要があると思う。

出藏委員　外出自粛等により免疫力が下がってきているので体調不良になりやすい。休校も3か月間になり、6月からのスタートとなると梅雨の時期にも重なり健康面が心配である。子どもも教師もみんなが元気に笑顔で会えるようサポートが必要だと思う。また、先ほど御意見もあつたが、生活面が苦しくなってくると弱い立場の子どもに向かい虐待も懸念される。就学援助等のさらなる支援の検討があればいい。

教育長　亀岡市においてもどのような支援ができるかを検討しているところである。

北村委員　休校延長についてはやむを得ないと思う。ただ、5月末で休校が終わらないという前提も考える必要がある。これで3か月休校になり、やはり教育の保障を考える必要があり、ICTを活用した教育が必要だと思う。インフラの状況が家庭で異なるといわれるが、全員整っていないとやらないという考えはどうなのか。6月から確実に学校が再開できるというのであればよいが、こういう状況下では100か0（ゼロ）かの議論は意味を持たないのではないか。この間に、家庭の状況も調査しながら、例えば8割整備されていれば貸出ししながらやってみるという方法も可能性としてはあると思う。また、休校の問題は教育委員会内の今までのスキームだけでは不十分で、福祉や商工を含めた行政のそれぞれの役割を超えた横断的な体制が必要だと考える。休校は教育領域だけが考えていけばいいというような状況ではなく、3か月をはるかに超えることも危惧している。行政内でどういうスキーム

が考えられるかという議論が始まってもいいのではないかと。あまり楽観的に考えない方がよく、絶えずシミュレーションが必要ではないかと思う。

福 嶋 委 員 I C T教育は始めないと遅いと感じている。6月から学校が再開されたとしても第2波がきて、また休校になるかもしれない。子どもの学習保障を考えると家庭のネット環境の状況も調査し、端末が整っていないとしても準備は始めていくべきではないか。

教育研究所長 休校に際しているいろいろなところが発信している動画の教材を教育研究所のホームページで紹介している。一方的な配信であれば可能であるが、例えば子どもからの質問に教師が答えるような双方向については、セキュリティの関係で現在のネットワーク環境では難しい。授業動画の配信については考えていく時期だとは思っている。

福 嶋 委 員 基本的なことだけでも始められればと思う。新しい学習内容だけでも動画配信して、アナログと組み合わせれば学校が始まった時にスムーズに行くのではないかと思う。

教 育 長 臨時休校については5月31日までとするが、ゴールデンウィーク後の状況で緊急事態宣言や特定警戒都道府県の指定が解除されるようなことがあれば、休校期間の短縮等もあり得る。その場合には、また教育委員のみなさんに御意見を伺いたい。

(3) 報告事項

①放課後児童会について

(4) 閉会

○教育長が閉会を宣言

以 上